

## これまでの検討・ヒアリングを踏まえた素案

### 1. 目的

○アイヌ民族の文化にふれることによって、文化の意味とこれからも共生していくというメッセージを、現在の市民はもとより後世の世代にも、広く長く伝えていく

### 2. 作品テーマの素材（アイヌ文化の象徴的な素材）

- アイヌ文様 ～
  - ・衣服や道具につけられる、多種多様な美しいデザイン。
  - ・母から娘に受け継がれるデザイン。魔除けの意味。
  - ・展示施設の門や壁のデザインの素材にもなっている。
- 儀礼具 ～
  - ・アイヌ（人間）とカムイ（神、自然）を仲立ちする道具
  - ・伝統的な工芸技術と独特の形態が凝らされている。
  - ・展示施設のモニュメントの素材にもなっている。
- 自然 ～
  - ・熊や鮭・鹿は重要な食糧として、また、梟は守り神として丁重に扱われている。
  - ・植物は食用・薬用のほか、矢毒・衣服・敷物の材料として活用。
- 装身具 ～
  - ・冠や鉢巻き、腕輪、首飾りや耳飾りも独特のデザインと形態。
- 音楽等 ～
  - ・楽器や舞踊も独特のデザインと形態。

### 3. 作品自体の素材（別添資料3）

### 4. 設置場所

- 目的を実現するために、なるべく多くの人が行き交う場所が望ましい。
  - ・例) 市の中心部施設、各区の拠点施設など。
  - ・但し、既に彫刻等が配置されている施設では、特定のコンセプトのもとに空間デザインがなされており、そのコンセプトとの整合が必要。

### 5. 制作手法・制作者

- 文化の理解促進のためには、制作過程の中でなるべく多数の市民参加が望ましい。そのためには、アイヌの作家も多数参加してもらうことが望ましい。
  - ・但し、市民参加を進めると作品のクオリティとのバランス問題が生じる。

## 6. 作品の素材とテーマ

○素材

○テーマとデザインの素材

例1) 文化の美しさを伝える  
(デザイン) 文様

例2) 様々な文化があることを伝える  
(デザイン) 文様・儀礼具・装身具・音楽等